

# 公益財団法人 実務技能検定協会

## 2019年度（平成31年度）事業計画書

### I 全般

#### 1 目的及び事業

本協会は、ビジネス実務に関する資質、知識、技能などの能力について審査を行い、等級を評価することにより、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、及び職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

##### ・公益目的事業（公1）

- (1) 秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能、サービス接遇実務、及びビジネス電話実務並びにその他ビジネス実務に関する技能検定の実施
- (2) 合格者の登録並びに合格証及び合格証明書の発行
- (3) 実務技能審査事業の普及、啓発

##### ・収益事業（収1）

出版物（ビジネス系検定受験参考書）の監修及び著作権の提供

#### 2 成績優秀合格者・優秀団体の表彰（文部科学大臣賞、実務技能検定協会優秀賞等）

2019年度（平成31年度）表彰式実施予定日 2020年3月4日（水）

（会場 アルカディア市ヶ谷）

#### 3 ビジネス電話実務検定の廃止およびビジネス実務マナー技能検定のリニューアル

本年度末をもってビジネス電話実務検定を廃止し、検定の内容をビジネス実務マナー技能検定の出題領域として取り入れる（リニューアルを行う）。

### II 公益目的事業（公1）事業計画

#### 1 2019年度（平成31年度）秘書技能検定事業計画

##### (1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 5,300円 2級 4,100円

3級 2,800円

##### (2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 2019年6月15日（土）または16日（日） 1～3級実施  
（願書受付 4月9日（火）～5月15日（水））

第2回 2019年11月9日（土）または10日（日） 1～3級実施  
（願書受付 9月2日（月）～10月9日（水））

第3回 2020年2月8日（土）または9日（日） 2・3級のみ実施  
（願書受付 12月9日（月）～1月14日（火））

(3) 面接試験（1級・準1級の二次試験）

- 1 級 ① 第1回 全国延べ13カ所で実施予定  
② 第2回 全国延べ14カ所で実施予定  
準1級 ① 第1回 全国延べ21カ所で実施予定  
② 第2回 全国延べ21カ所で実施予定

筆記試験免除 1級・準1級とも、初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。

(4) 試験の範囲と程度 「秘書技能審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回とも140会場を予定  
準会場（団体受験者のみの会場） 各回とも800会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。  
個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 2019年度志願者数見積

級 位	2019年度計画数
1 級	2,500名
準1級	10,800名
2 級	82,000名
3 級	43,000名
合 計	138,300名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者（審査員・係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

## 2 2019年度（平成31年度）ビジネス文書技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

1級 5,800円 2級 4,100円 3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 2019年6月30日(日) 1～3級実施

(願書受付 4月9日(火)～5月27日(月))

第2回 2019年12月1日(日) 1～3級実施

(願書受付 9月2日(月)～10月28日(月))

(3) 試験の範囲と程度 「ビジネス文書技能審査基準」による。

(4) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回20会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回120会場を予定

(5) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(6) 2019年度志願者数見積

級位	2019年度計画数
1級	800名
2級	3,400名
3級	6,200名
合計	10,400名

(7) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区（札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇）で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

### 3 2019年度（平成31年度）ビジネス実務マナー技能検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

1級 6,500円 2級 4,100円 3級 2,800円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 2019年6月23日(日) 1～3級実施  
(願書受付 4月9日(火)～5月20日(月))

第2回 2019年11月17日(日) 1～3級実施  
(願書受付 9月2日(月)～10月15日(火))

(3) 1級面接試験（二次試験）

第1回 全国8カ所で実施予定

第2回 全国7カ所で実施予定

筆記試験免除 初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される。

(4) 試験の範囲と程度 「ビジネス実務マナー技能審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回15会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回160会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 2019年度志願者数見積

級位	2019年度計画数
1級	200名
2級	3,000名
3級	6,400名
合計	9,600名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

#### 4 2019年度（平成31年度）サービス接遇実務検定事業計画

(1) 試験の級位および受験料（消費税込み）

1級 6,500円 準1級 4,700円 2級 3,900円  
3級 2,700円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 2019年6月9日(日)1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）  
（願書受付 4月9日（火）～5月7日（火））

第2回 2019年11月3日(日)1・2・3級実施（準1級は面接試験のみ実施）  
（願書受付 9月2日（月）～9月30日（月））

(3) 面接試験（1級は二次試験として実施）

1級 ① 第1回 全国延べ10カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ10カ所で実施予定

準1級 ① 第1回 全国延べ15カ所で実施予定

② 第2回 全国延べ16カ所で実施予定

筆記試験免除 初回の面接試験に不合格の場合、次回・次々回の筆記試験が免除される（1級のみ）。

(4) 試験の範囲と程度 「サービス接遇実務審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回30会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回500会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 2019年度志願者数見積

級位	2019年度計画数
1級	1,400名
準1級	6,300名
2級	19,900名
3級	23,600名
合計	51,200名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 準1級の面接試験担当者（審査員・係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。

## 5 2019年度（平成31年度）ビジネス電話実務検定事業計画

(1) 試験の級位及び受験料（消費税込み）

実践級 4,700円 知識A級 3,500円 知識B級 2,700円

(2) 筆記試験実施日（予定）・願書受付期間（予定）

第1回 2019年6月2日(日) 知識A・知識B級実施(実践級は実技試験のみ)  
(願書受付 4月9日(火)～5月7日(火))

第2回 2019年11月24日(日) 知識A・知識B級実施(実践級は実技試験のみ)  
(願書受付 9月2日(月)～10月21日(月))

(3) 実践級試験（知識A級の合格者のみ受験可）

第1回 全国5カ所で実施予定

第2回 全国6カ所で実施予定

(4) 試験の範囲と程度 「ビジネス電話実務審査基準」による。

(5) 試験実施会場

本会場（個人受験者・団体受験者向け会場） 各回15会場を予定

準会場（団体受験者のみの会場） 各回80会場を予定

(6) 受験手続

団体受験 学校・企業等の担当者を通じて申し込む。

個人受験 インターネット、書店、郵送（現金書留）のいずれかにより申し込む。

(7) 2019年度志願者数見積

級位	2019年度計画数
実践級	400名
知識A級	2,400名
知識B級	1,800名
合計	4,600名

(8) その他

- ① 合格者の登録及び合格証明書の発行を行う。
- ② 成績優秀者及び成績優秀団体の表彰を行う。
- ③ 地方研究会（ビジネス実務教育担当者向け）を9地区(札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇)で開催する。
- ④ 実践級の試験担当者（係員）の研修を行う。
- ⑤ 教育担当者を対象にしたビジネス実務教育情報紙を年3回発行する。
- ⑥ ビジネス電話検定の廃止を周知するために広報を行う。

Ⅲ 収益事業（収1）事業計画

1 実務技能検定に関する問題著作権の提供等

趣旨・事業の内容

ビジネス実務に関する知識・技能は、学校教育では身に付ける機会が少なく、学習者にとっては学習の手段が不可欠である。学習者が効率的に知識や技能を習得するためには、一定の基準（各検定の「審査基準」）に基づいて解説された学習参考書での学習と、その習熟度を測るために各検定の「審査基準」に基づいて出題された過去の問題（実問題）への取り組みなどが適当な学習方法となる。

出版事業を行っていない当法人としては、学習者のニーズに応え学習の支援を行うために、出版社等に実問題の著作権を有償で広く提供するとともに、要請があれば各検定試験に関する学習参考書等の監修業務を受託する。

以上